

ジャンボヒマワリの栽培記録 (平成25年度)

尾崎健司・島田有紀子

当園では平成18年よりベゴニア温室周辺でジャンボヒマワリの栽培を行い、その大きさは入園者に驚きと感動を与えていた。今年度は、平成20年に記録した6m82cmの日本記録には及ばなかったが、最も高い株で6m35cmを記録し、そのほか植栽した24株のうち3株が高さ6mを越えた(写真)。その結果、特定非営利法人ひまわり夢企画の主催するジャンボひまわりコンテストへの参加で1位となった。

本稿では、今年度の播種から開花までの栽培方法と、播種時期が開花と草丈に及ぼす影響について検討したので報告する。

植え付けの準備

3月下旬に、牛糞、鶏糞などの有機物を十分に散布し、耕耘機で十分に攪拌した。

播種および管理

4月15日、4月24日および5月4日に、昨年に採取した種子を戸外に直播し、もしくはポリポットで育苗した苗を定植した。4月は比較的寒く、降霜の心配があったので、4月15日および4月24日に直播した発芽後まもない苗に対しては、夕方から翌朝まで育苗用のホットキップをかけて、霜よけをした。

発芽後は、有機液肥(万田アミノアルファ、N5・P5・K5の1000倍液を1週間に1度1株当たり5ℓ施し、6月上旬と7月上旬に、ペレックス8号(N8・P8・K8・Mg1)、ガーデニングエードボール(N11・P19・K8・Ca3)、牛糞、油粕を等量混合し、1株あたり500gを2箇所に分けて追肥した。

発芽後、ヒマワリは茎が細く倒れやすいため、適時支柱立てと誘引を行った。1日の伸長量が大きいため、誘引した紐を度々確認して緩めないとすぐに頭を下に引っ張られた状態になったり、誘引し直しても首がうねってしまうなど、伸長のロスが生じた。

灌水は適時行った。夏場は特に乾燥が激しく、バーク堆肥で蒸発抑制のマルチングを行ったが、葉の萎れが激しく、朝夕の2度の灌水が必要な

日も多かった。

害虫では5月上旬にアブラムシが発生したため、アセフェート水和剤(商品名:オルトラン水和剤)の1000倍液を散布するほか、ニテンピラム粒剤(商品名:ベストガード粒剤)を1株あたり2g株元散布した。また、病気予防として、チオファメートメチル水和剤(商品名:トップジンM水和剤)の1500倍液を散布した。

結果

播種日と開花および草丈との関係について表に示した。この結果、播種日が早いほど、開花日が早かったが、開花までの日数は長く、草丈が大きかった。すなわち、早く播くほど栄養成長期間が長く、草丈が大きくなかった。最長の草丈(6m35cm)に達した株は、4月15日に種子を直播した区で、7月25日に開花した。

一方、秋に行った別の実験で、10月23日に、自然日長区と17時間日長区を設けて、ポリポットに種子を播き、最低10℃加温の温室で栽培したところ、自然日長区のほうが開花が早く、節数が少なかった(データ省略)。このことから、本ヒマワリは量的(相対的)短日植物であると推察された。しかし、上述のように、春に播いた場合には、遅く播くほど、すなわち長日期に向かうほど開花までの日数と草丈が短くなったことから、



写真 展示中のジャンボヒマワリ

本植物が長日性であることが示唆された。そこで今後はさらに追試をして詳細を確かめ、その上で、より大きな草丈を目指す。

なお、直まきとポット育苗では、開花および草丈に一定の傾向がみられず、有意差もなかった(データ省略)。

以上の結果、種子を早く播くほど草丈が大きくなることから、今後は、さらに早く播種してその影響を調べたいが、気温が低いことを考慮して、ポット育苗との組み合わせも検討する。

開花

咲き方には、一茎一花のタイプと、1茎から多数の花茎をつける多花性タイプがあった。この性質は、前年度の咲き方と一致し、遺伝することが分かった。当園のサマーフェアは8月末まで開催されるので、できるだけ開花期間の長い多花性タイプを植栽するのが展示に有効であろう。さらに、多花性タイプには、側花茎がほぼ同時

期に咲くタイプと、上位節の花茎から順々に咲くタイプの2タイプが見られた。開花期間を鑑みると、展示効果は後者のほうが高いと思われた。

種子採取

来年用の種子採取のため、開花後は見苦しくなるが、花がらを摘まなかった。ところが、鳥の食害がみられたので、花がらにネットをかけて保護した。サマーフェア終了後、枯れた花を摘み取り、十分に乾燥させて、未熟な種子を除き、シリカゲル入の密封容器に入れて冷蔵庫で保存している。

表. 播種時期と開花日および草丈との関係

播種日 (月. 日)	平均開花日 (月. 日)	開花までの 平均日数 (日)	平均草丈 (cm)
4.15	7.25	101	598
4.24	7.27	94	570
5.4	8.2	90	529

各区3株を供試し、その平均値を算出。